

令和2年度 第1回大和市下水道運営審議会会議録（抜粋）

【開催日時】 令和2年8月5日（水） 午前10時00分～10時40分

【開催場所】 市役所5階 全員協議会室

【出席状況】 委員10名（欠席1名）：

古木邦明委員、扇原博委員、二見富春委員、石岡嘉彦委員、

西岡久子委員、塩沢雍子委員、松原美紀委員、高橋亮次委員、

宮地康夫委員、山内辰徳委員

市側6名：

都市施設部長、下水道経営課長、ほか担当職員4名

【公開・非公開の状況】 公開 非公開 一部非公開

【傍聴人】 0名

【審議又は検討の経過及び結果】

●会議次第：1 挨拶

2 委員紹介等

3 議題

（1）会長の選出について

⇒委員の互選により、古木委員が会長に選任された。

(2) 公営企業会計について

⇒資料1-1、1-2により、説明を行った。

(3) その他

⇒資料2により、説明を行った。

●主な質疑内容の要約：

3 議題

(2) 公営企業会計について

(委員)

①質疑：減価償却費とは、どのようなものか。

(事務局)

①答弁：耐用年数に応じて、分割して費用計上するものである。実際に現金が動くことはなく、帳簿上の処理である。

(3) その他

(委員)

②質疑：大和市下水道経営計画（案）では、P.13に「BOD」と「SS」についての説明の記載があるが、策定された大和市下水道経営計画には説明の記載が無いのはなぜか。

(事務局)

②答弁：語句の解説については、用語集に集約を行ったため、P.38に記載をしている。

(委員)

③質疑：在宅勤務やサテライトオフィスによる勤務により、接触機会を減らしたとのことであるが、どのような勤務体制となったのか。

(事務局)

③答弁：全庁的に職員を3班体制、職場の人数によっては2班体制で勤務を行った。3班体制の場合は、A班が職場での勤務としたら、B班とC班は、その日に行う業務に応じて、自宅でできる業務であれば在宅勤務となり、それ以外の業務を行う場合は、サテライトオフィスでの勤務を行いました。

(委員)

④質疑：新しい生活様式が求められているなかで、仕事の仕方も変化していくと思うが、システム構築についてはどのように考えるのか。すでに始めていることはあるのか。

(事務局)

④答弁：現時点では、システムの構築までには至っていない状況である。業務によって、システム化が可能なものとそうでないものに分かれる。各種の届出事務などについては、現在、郵送での届出を行っているもの

は、インターネットでの届出も可能と考えられるが、システムの構築には、着手していません。

(委員)

⑤質疑：東京都などが、下水道からコロナウイルスが検出されるか調査を行っているが、大和市では行わないのか。

(事務局)

⑤答弁：まだ、調査の手法が確立されていない。また、本市単体で行うものではなく、広域で行い、感染拡大の兆候をいち早く察知するものであり、本市単独での調査の実施は、考えていません。